

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko 国際文化専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』

この号の内容

1 イタリア ミラノ空港、故ベルルスコーニ元首相名への改名承認 反発も

2 EU 支部だより

・政治のイエス・キリスト
・大きな間違い



・ミラノ・マルペンサ空港
・イタリアのメディア王
・揶揄した言葉



イタリア ミラノ空港、故ベルルスコーニ元首相名への改名承認 反発も

(CNN) イタリアの民間航空行政当局は14日までに、同国ミラノ市のマルペンサ空港を、昨年6月に86歳で死去したミラノ出身のシルヴィオ・ベルルスコーニ元首相の名前に改名することを承認した。

サルビーニ同国副首相兼インフラ・運輸相がSNS上で発表した。ミラノが位置するロンバルディア州当局が約1年前、同空港の名称の変更を要請していたという。

ベルルスコーニ氏の友人だったとするサルビーニ氏は、命名変更の最終決定権はインフラ・運輸相にあるとし、誇りや感動の念を持って改名を認める文書などに署名する意向を示した。名称の正式な変更の時期は不明。マルペンサはミラノの最大の空港で、離着陸便の多さなどはイタリアで2番目となっている。77カ国の180カ所へ就航している。

実業家出身のベルルスコーニ元首相は富豪としても有名。首相には計3度選ばれ、在任期間は計9年以上と、第2次世界大戦時にファシスト政権を率いた独裁者ムソリーニ以降では最長だった。

生前には自らを「政治のイエス・キリスト」と自賛したこともある。右派系の政治家として活動したが、脱税、汚職や未成年者の売春婦との性的接触など醜聞にも事欠かず、多数の裁判沙汰にも巻き込まれた。

それだけに元首相に敬意を捧げるような同空港の改名については反発する声も一部出ている。ロンバルディア州の民主党議員は「大きな間違い」と断定した。

EU 支部だより —空港の名称—

ミラノ・マルペンサ空港は、イタリアのミラノ市から約50キロ離れた場所に位置する国際空港で、第二次世界大戦後の1948年にオープンしました。年間の利用者数は2,220万人以上で、北部イタリア最大の空港です。

現在、イタリア人の話題の1つとしてミラノ・マルペンサ空港の名称変更が挙げられます。2024年7月14日までに、空港名を前年に亡くなったシルヴィオ・ベルルスコーニ元首相の名前に変更することが承認されているからです。ベルルスコーニ氏はイタリアの政治家、実業家であり、ACミランの立役者としても知られています。彼はイタリアのメディア王として活躍し、首相としても歴史に名を刻んでいる、いわば大物です。一方で、若い子好きの助平おじさんというイメージも、イタリア人にはあるようです。

実は、イタリアで政治家の名前がついた空港はただ1つ。トリノ空港のサンドロ・ペルティエニ(イタリア元大統領)だけとなっています。世界では、アメリカのジョン・F・ケネディ空港など、政治家の名前がついた空港が多数あります。日本では、鳥取コナン空港等、アニメ由来の名称も多いですね。一方、イタリアではレオナルド・ダ・ビンチ空港やクリストフォロ・コロombo空港など、多くの偉人を輩出していることから、空港のネーミングに困ることはないようです。

では、イタリア人の多くがどう考えているかというと、ベルルスコーニ空港と呼ぶくらいなら「ブンガブンガ空港」でOKだ、と言っているようです。イタリア人流ブラックジョークというところでしょうか。この「ブンガブンガ」とは、ベルルスコーニ氏が自身のディナーパーティで使ったジョークに由来しており、中道左派野党の前大臣たちを揶揄した言葉です。言葉の意味は、ここで書くことは控させていただきますが、興味があれば、どうぞ、この言葉を検索してみてください。(松原)